

設置説明書

この機器の設置には資格が必要です。

ガスドロップインコンロ

型 式	型式の呼び	トッププレートのタイプ	備 考
RHD312GM1RA	RHD312GM	ガラストップ	1 口タイプ
RHD322GM1TA	RHD322GM		2 口タイプ

設置される方へのお願い

- この機器を安全に正しくご使用いただくために、この説明書をよくお読みになって指定された設置を行ってください。
- 設置が終わったら **7 設置後の点検確認** のチェックリストに基づいて、必ず再確認してください。
- 設置終了後は、この「設置説明書」を「取扱説明書」とともに必ずお客様にお渡しください。

1	安全に正しく設置していただくために	2 ～ 6
2	寸法図	7 ～ 8
3	同梱部品と設置後不要となる部品の確認	9
4	電気配線工事	10～11
5	コンロの設置	12～25
6	ガス配管工事・ガス配管接続工事・配線工事	26
7	設置後の点検確認	27～28
8	試点火および試運転	28






(工場管理)
JS0049-054(01)
07000005249420

Rinnai

1 安全に正しく設置していただくために

機器を安全に正しく設置していただくためや、設置作業や使用者への危害や財産への損害を未然に防止するためにこの説明書では、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 危険	この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示について次のような意味があります。



分解禁止



ぬれ手禁止



一般的な禁止



一般的な
危険・警告・注意



アース線を必ず
接続する



必ず行う

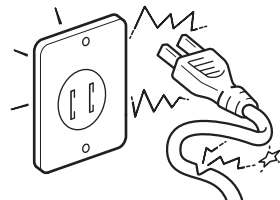
特に注意していただきたいこと、安全のために必ずお守りください

警告



■傷んだ電源コードや電源プラグ、差し込みがゆるいコンセントは使用しない

感電や火災の原因になります。



アース線を必ず
接続する

■アース線を確実に取り付ける

- 故障や漏電のときに感電するおそれがあります。
- アースの取り付けは販売店にご相談ください。
- アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。



■設置は必ず、この「設置説明書」と「ガス機器の設置基準および実務指針」（一般財団法人日本ガス機器検査協会刊）に従う

変則的な設置をすると事故や火災の原因になります。



■この機器を安全に正しくご使用いただくために、この「設置説明書」をよく読み、指定された設置を行う



■ガス配管接続には専門の資格・技術が必要です

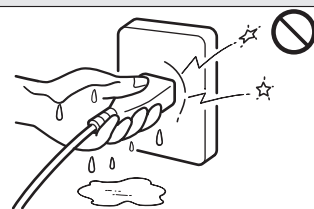
金属管や金属可とう管などによる機器へのガス配管接続工事・
取りはずし工事は、必ず有資格者が行ってください。



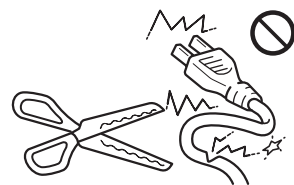
警告



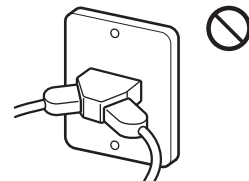
■ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
感電やけがをすることがあります。



■電源コードを加工したり、無理な力を加えたり、物をのせたり、たばねたりしない
感電や火災の原因になります。

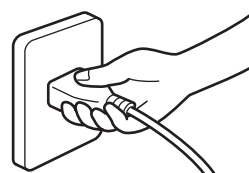


■たこ足配線はしない
火災の原因になります。



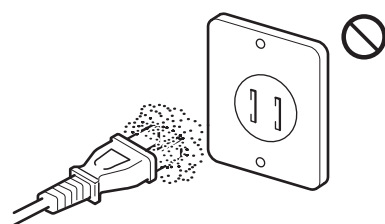
■電源プラグを抜くときは、電源プラグを持って抜く

守らないと感電やショートして発火するおそれがあります。



■電源プラグにほこりが付着していないか確認し、プラグの根元までしっかりコンセントに差し込む

ほこりが付着していたり、コンセントへの接続が不完全な場合は感電や火災の原因になります。



注意



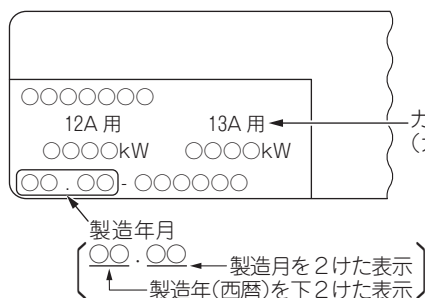
■供給ガスと設置する機器の銘板に表示してあるガス種（ガスグループ）および電源（電圧・周波数）が一致していることを確認する

合っていない場合、そのまま使用すると火災や不完全燃焼により、一酸化炭素中毒になったり、異常点火でやけどをしたりすることがあります。また、故障の原因にもなります。

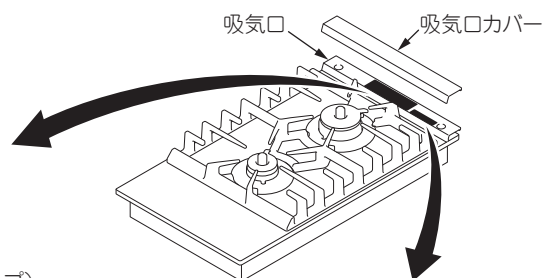
銘板は機器後方の吸気口上面中央（吸気口カバーをはずした下側）に貼ってあります。

また、電気用銘板は機器後方の吸気口上面右側（吸気口カバーをはずした下側）に貼ってあります。

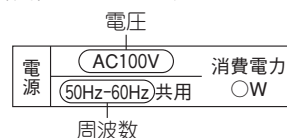
〈例〉銘板（12A・13Aの場合）



ガス種
(ガスグループ)



〈例〉電気用銘板

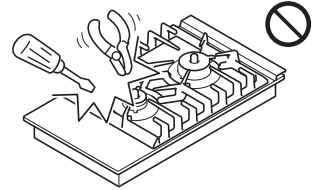


⚠ 注意



■絶対に分解は行わない

設置で必要なところ以外は、絶対に分解は行わないでください。
一酸化炭素中毒のおそれがあります。また、機器故障やガス漏れや
火災の原因になるおそれがあります。



■業務用として使用しない

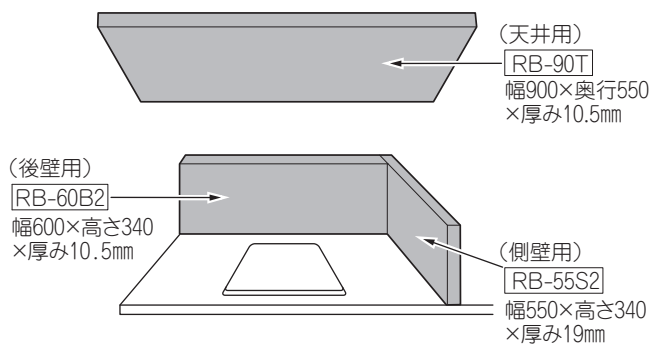
この機器は家庭用専用ですので、業務用のような使いかたをすると、機器の寿命が極端に短くなります。



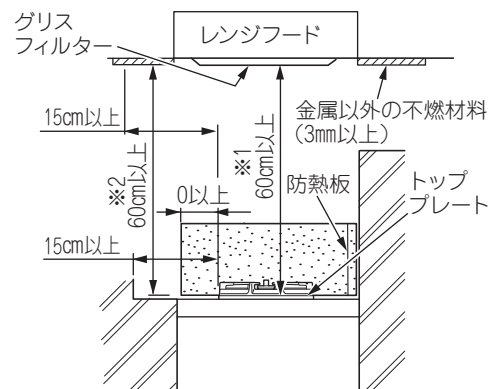
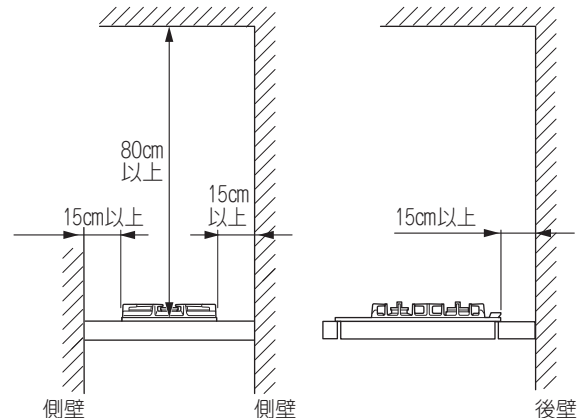
■設置するときは可燃物との距離を確実に離す

- 火災予防条例で定められています。必ず守ってください。
距離が近いと火災の原因になります。また、可燃性の壁にステンレス板などを直接取り付けて使用しても、熱伝導で長年の間に可燃物が炭化し、火災になることがあります。
- 周囲に可燃物（木製の壁、棚など）のある場合は、次のようにしてください。
トッププレートより上の側面は15cm以上、後面は15cm以上、上部はトッププレート上面より80cm以上離して設置します。
- 可燃性の壁（ステンレス板などを貼り付けた可燃性の壁も含む）から側面は15cm以上、後面は15cm以上、また、上部はトッププレート上面から80cm以上離して設置できない場合は、壁面に別売の防熱板を取り付けてから設置します。調理台・流し台の側面などが可燃性で機器のトッププレートより高い場合も、流し台側面を保護してください。

防熱板（別売）



※防熱板については、お買い上げの販売店
または施工店にお問い合わせください。



- ※1. レンジフード以外の場合は、80cm以上
- ※2. 不燃材がない場合は80cm以上

- 前記の設置基準は、共同住宅など（戸建て専用住宅、共同住宅、店舗併用住宅の住宅部分であり、営業用および一般事業所の従業員食堂、学校、病院の給食用等の以外のもの）の用途の建築物であり、また排気方式が、各住戸の厨房用ダクトが単独排気方式の場合に適用されます。

⚠ 注意



■設置するときは、下記の項目に注意する

〈法律・法令など〉

- 燃焼機器を設置する場所には、建築基準法や火災予防条例・電気設備技術基準に定める防火措置を施す必要があります。
- この機器を設置する台所が、建築基準法に定める（内装制限を受ける調理室）に該当する場合は、台所全体についても内装材の制限を受けます。
- この機器の金属部は、感電・火災などを防止するためにカウンタートップなど家屋の金属部分と電氣的に接触しないように、カウンタートップに絶縁テープなどで絶縁処理をしてください。（「電気設備技術基準の解釈第167条の3項」によります。）

〈設置場所など〉

- 車両・船舶には設置しないでください。
- 機器設置時は、ガス工作物、電気工作物などの他の設備に悪影響を与えない位置に設置してください。
- 引火性の危険物（ガソリン・灯油・ベンジン・接着剤など）や、業務用薬品（アンモニア・硫黄・塩素・エチレン化合物・酸類などの腐食性薬品）を周囲で保管したり、取り扱う場所には設置しないでください。
- 十分に換気のできる場所に設置してください。
- 水のかかるところには設置しないでください。
- 水平で安定した場所に設置してください。

〈周辺環境など〉

- 湯沸器や樹脂製の照明器具の下へ設置しないでください。
- 棚の下など落下物の危険のあるところには設置しないでください。
- 吸気口をステンレスの水切りカバー（水返しカバー）などでふさがないでください。
- 強い風が吹き込む場所や、機器本体後方から風が吹き込む場所には設置しないでください。（点火しなかったり、温度センサーや立消え安全装置が正しくはたらかないことがあります。）
- 保守メンテナンスをする場所が確保されていることを確認してください。

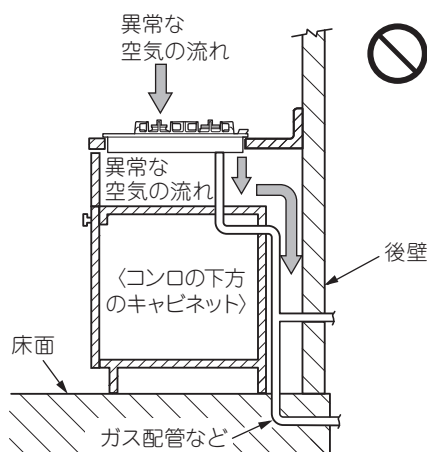
設置後、トラブルの原因になったり、点検・修理に支障をきたしたりします。

設置場所を決めるときは、お客様とよく相談してください。

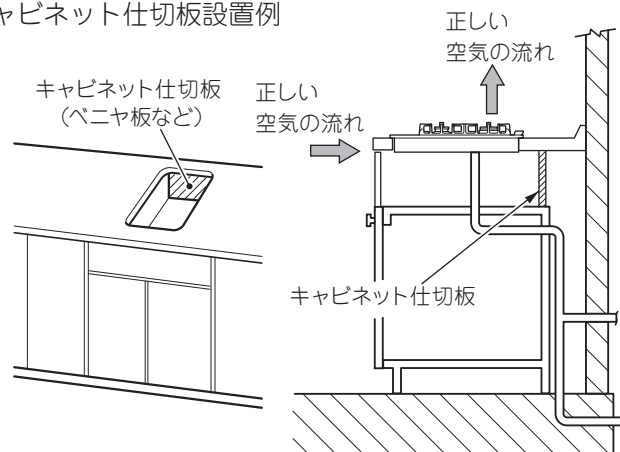


■キャビネットを背板などでふさぐ

コンロ後方がふさがれていない場合は、ベニヤ板やアルミテープなどによりふさいでください。コンロ後方がふさがれていないと、コンロと後方空間や外気との間で異常な空気の流れが起こる場合があります、炎がもぐりこんだり、消火したり、不完全燃焼することがあります。



キャビネット仕切板設置例



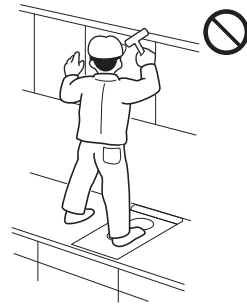
⚠ 注意



■機器の上に乗らない、傷つけない

機器の上に絶対に乗らないでください。トッププレートが破損し非常に危険です。

トッププレートに強い衝撃を与えたり、過度な荷重をかけたりしないでください。トッププレートの破損の原因になります。



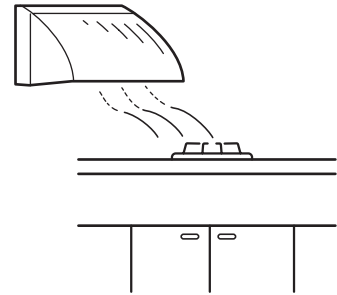
■十分な換気設備がある場所に設置する

この機器は、レンジフードなどでの換気が必要です。

設置するガス機器および同一室内に設置してある他の機器のガス消費量に対し、十分な換気設備がある場所に設置してください。

ただし、室内給気式（FE・CF）給湯器・ふろがまを使用している場合は、レンジフードなどを回すと排気ガスが逆流して、一酸化炭素中毒の原因になるおそれがあります。

該当給湯器などの同一室内への設置は避けてください。



■機器設置の際には必ず手袋をする

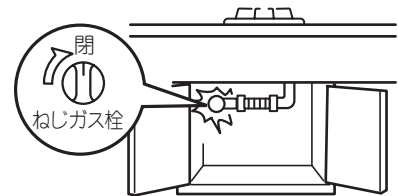
けがの防止になります。



■設置後は必ずガス栓（ねじガス栓）を閉める

機器のガス栓（ねじガス栓）は機器下方または、となりのキャビネット内にあります。

ガス事故防止のため、必ず行ってください。



お願い

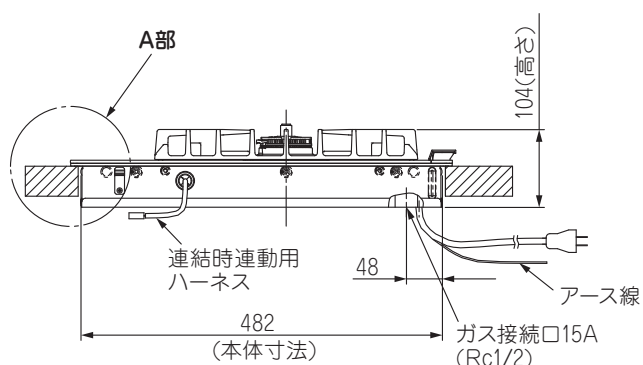
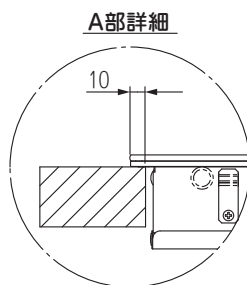
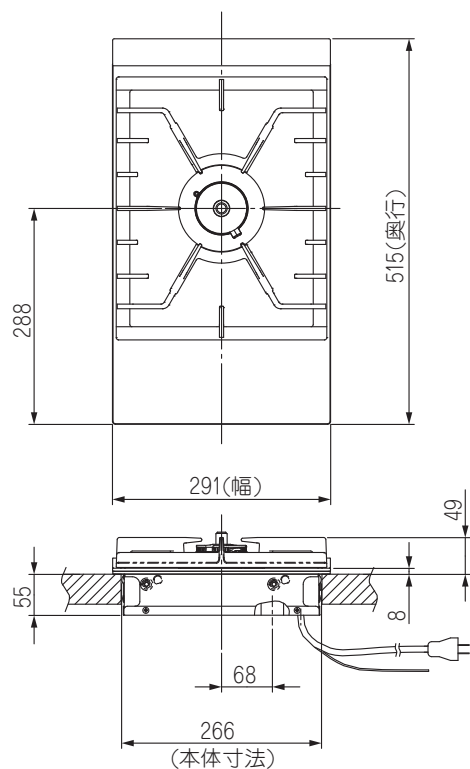
- 本体をタイルやモルタルで、塗り込まないでください。
- 耐久性などの点から、できるだけ湿気の少ないところを選んでください。
- ワークトップ材は、熱硬化性樹脂高圧化粧板（JIS・K・6903）またはこれと同等以上の材料をお使いください。
- 表面がニス引きのものは、変色するおそれがあるので、使用しないでください。

2 寸 法 図

1. 外形寸法図

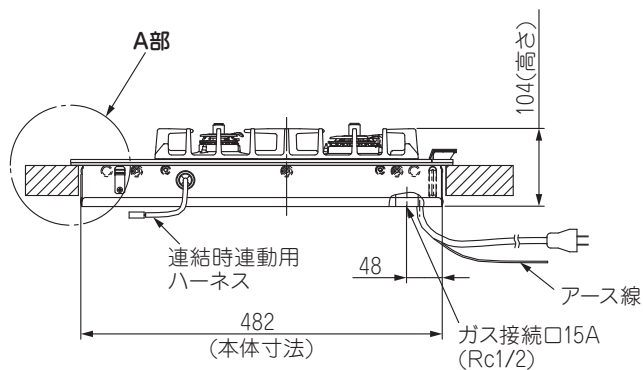
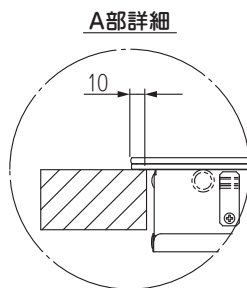
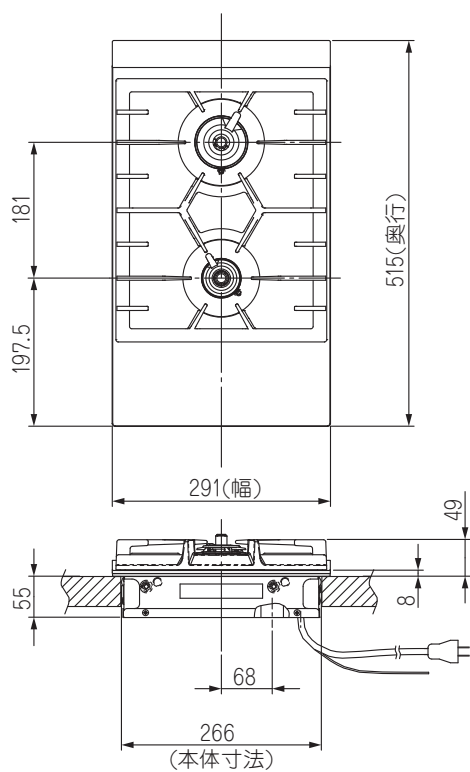
(単位：mm)

RHD312GM1RA



RHD322GM1TA

(単位：mm)



(单位: mm)

Technical drawings of a component, showing front and side views with dimensions.

Front View (Left):

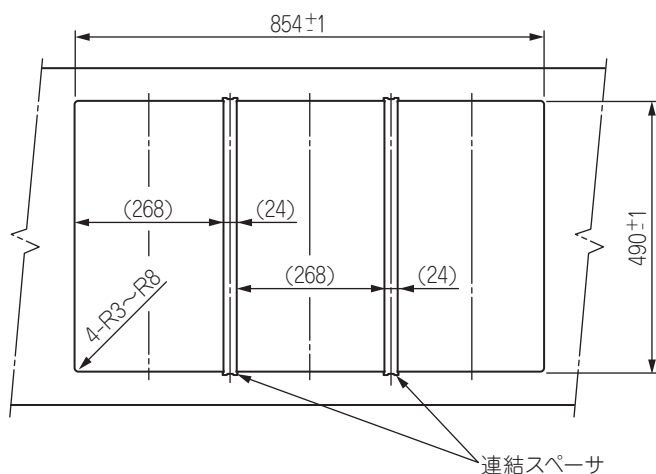
- Width: 268 ± 1
- Height: 490 ± 1
- Corner Radius: $4-R3 \sim R8$

Side View (Right):

- Depth: 561 ± 1
- Height: 490 ± 1
- Corner Radius: $4-R3 \sim R8$
- Internal Slot Dimensions: (268) (width) and (24) (depth)
- Label: 連結スぺーサ (Link Spacer)

設置ワークトップ穴寸法

2連設置ワークトップ穴寸法



3連設置ワークトップ穴寸法

Technical drawings of the battery case showing front and side views with dimensions and labels.

正面図 (Front View):

- Top width dimension: 268 ± 1 (カット寸法)
- Left side dimension: 仕切り板がある場合 10以上離してください (If there is a partition board, please keep it 10 or more away).
- Labels: 電池ケース (Battery Case), 仕切り板 (Partition Board).

側面図 (Side View):

- Top width dimension: ワークトップ奥行寸法最小650 (Minimum Worktop Depth Dimension 650)
- Left side dimension: 150以上 吸排気口 (150 or more, Suction/Exhaust Port)
- Internal width dimension: 仕切り板がある場合 (If there is a partition board)
- Bottom width dimension: 490 ± 1 (カット寸法)
- Bottom right dimension: (100)
- Right side label: 背板 (Back Panel)
- Labels: 電池ケース (Battery Case), 仕切り板 (Partition Board).

もし仕切り板がある場合は、仕切り板より10mm以上離して強固に取り付ける。

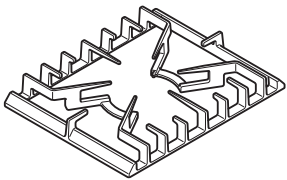
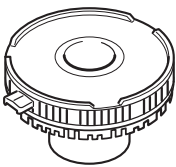
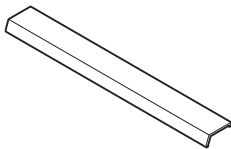

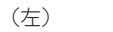
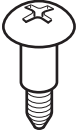
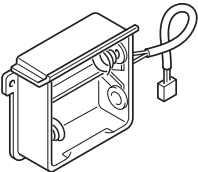
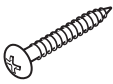
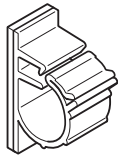
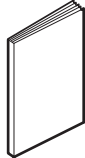
3

同梱部品と設置後不要となる部品の確認

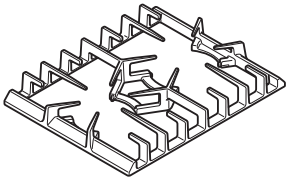
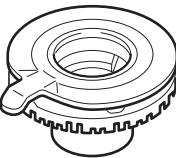
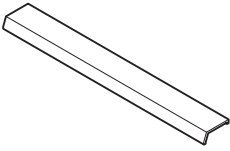


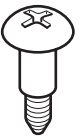
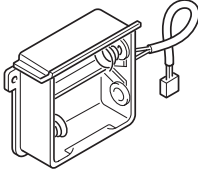

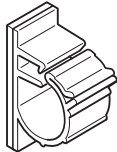
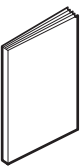
1. 同梱部品の確認

① 部品の不足がないことを確認する。

RHD312GM

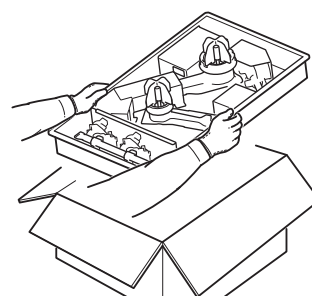
部品名 ・ 形状	ごとく(1口用) 		パーナーキャップ(強火力) 	吸気口カバー 	サイドカバー (右)  (左) 
部品名 ・ 形状	トッププレート固定ねじ × 2 	電池ケース 	電池ケース固定用ねじ × 3 	リード線固定用クリップ × 3 	取扱説明書(保証書付) 

RHD322GM

部品名 ・ 形状	ごとく(2口用) 		パーナーキャップ(標準) 	パーナーキャップ(小) 	吸気口カバー 
部品名 ・ 形状	サイドカバー (右)  (左) 	トッププレート固定ねじ × 2 	電池ケース 	電池ケース固定用ねじ × 3 	リード線固定用クリップ × 3 
部品名 ・ 形状	取扱説明書(保証書付) 				

2. 設置後不要となる部品の確認

部品名 ・ 形状	インレットキャップ 	設置用キャップ (RHD312GM の場合×1) (RHD322GM の場合×2) 
----------------	--	---



■開梱時の注意事項

● 本体側部を持って、機器を段ボール箱より取り出してください。

4

電気配線工事

1. 電源コードの接続

①電源プラグは専用コンセントに差し込んで使用する。

※電源…交流100V、50Hz-60Hz 共用 消費電力…7W (RHD312GM)、6W (RHD322GM)

⚠ 危険



■電源コードを切断し直結しない

切断しますと感電や漏電による火災の原因になります。また、アフターサービスができなくなります。

⚠ 警告



■傷んだ電源コードやプラグ、差し込みのゆるいコンセントは使用しない

電源コードに重い物を乗せたり、加熱したり、必要以上に引っ張らないでください。



■テレビ、ラジオなどを機器の近くに置かない



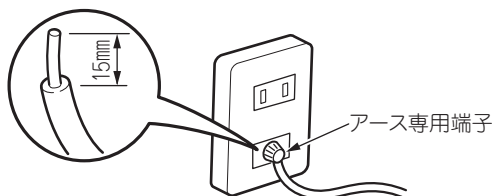
■アースは必ず取り付ける

故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

アース線を必ず
接続する

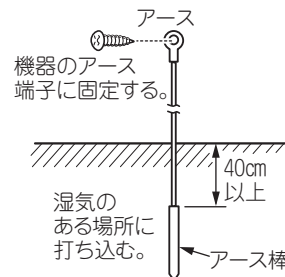
〈アース端子付コンセントがある場合〉

コンセントにアース専用端子が設けられている場合は、アース線先端の皮をむき芯線（銅線）をアース端子に固定します。



〈アース端子付コンセントがない場合〉

アース棒（別売）によるアース工事を行ってください。アース工事は必ず電気工事店や、お買い上げの販売店に依頼してください。水道管やガス管、電話専用のアース線へ機器のアースを絶対に取り付けしないでください。



〈湿気や水気のある場所でお使いになる場合〉

必ずD種接地工事（接地抵抗100Ω以下）をするよう法律で義務づけられています。必ず、電気工事店や、お買い上げの販売店に依頼して取り付けてください。



アース線を必ず
接続する

① 湿気の多い場所

- 例・食堂（うどん屋、そば屋など）のかま場
- ・土間、コンクリート床の場所
 - ・酒、しょうゆなどの醸造・貯蔵庫など



② 水気のある場所*

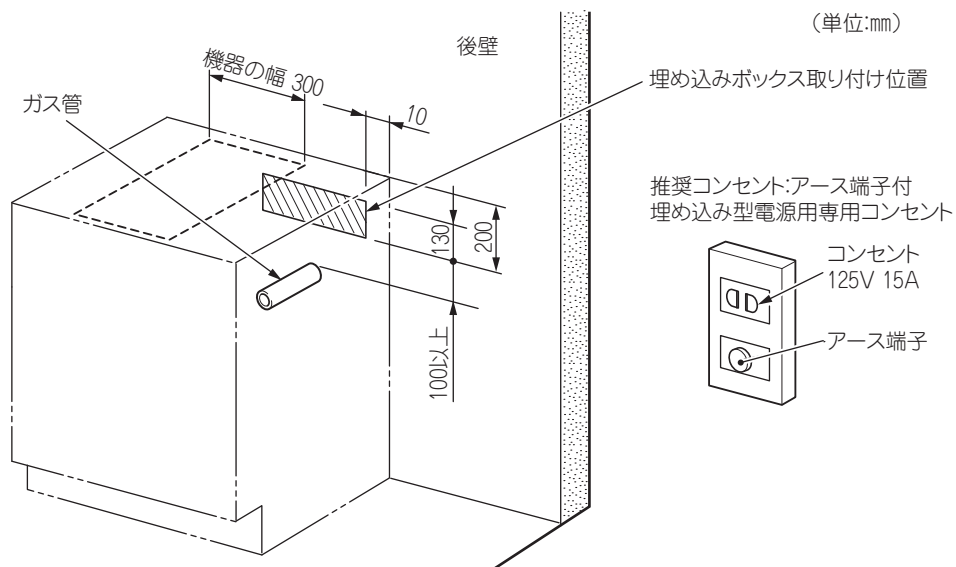
- 例・魚屋、八百屋の洗い場など、水を扱う場所
- ・水滴が飛散する場所
 - ・地下室のように水が漏出したり結露する場所
- ※この場合は、漏電遮断器の取り付けも必要です。



- 電源プラグのほこりを取り除き、プラグの根元までしっかり差し込む
- 専用ブレーカー電源回路で使用する

2. 電源用専用コンセント取り付け位置図

- 電源用専用コンセントは、下図の位置に取り付けることをおすすめします。
- 取り付け位置は、お客様とよく相談してください。
- 機器の設置時や取りはずし時、または保守メンテナンス時に電源プラグの抜き差しができるか確認してください。
- 低圧屋内配線とガス管（または弱電流線、水道管など）との離隔距離は、100mm以上確保してください。



5 コンロの設置

1. 開梱・機器の取り出し

① 開梱して機器を取り出す。 **図1**

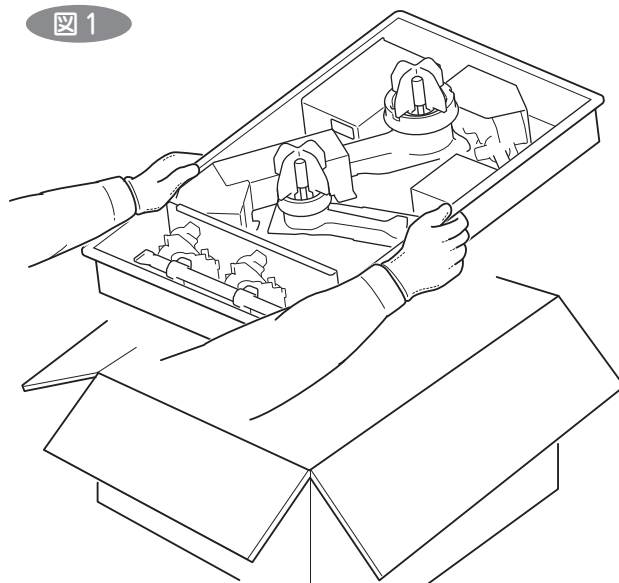
●輸送のため各部品にあて紙や包装部材があるので、全部取り除く。

※ごとくは機器の下に同梱されています。

※必ず本体側部を持ってください。バーナーなどの燃焼部品を持って機器を持ち上げると、燃焼不良の原因になります。

※設置用キャップをはずさないでください。トッププレートを取り付けるときに使用します。

図1



② アース線が機器内部にしっかり取り付けられているか確認する。 **図2**

⚠ 注意

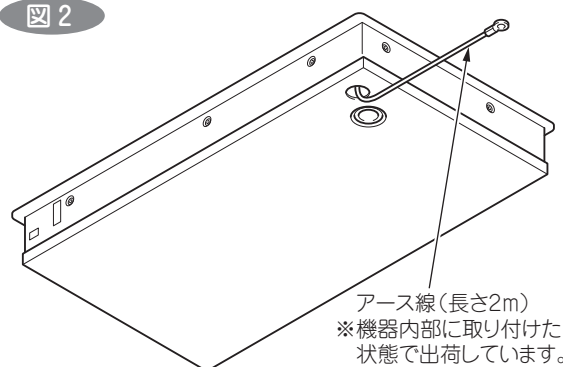


アース線を必ず接続する

■アース線を確認する

アース端子付コンセントがない場合は **4 電気配線工事** を参照してください。

図2



2. コンロの設置 (単体設置)

※連結設置の場合は、P16 **3. コンロの設置 (連結設置)** 参照。

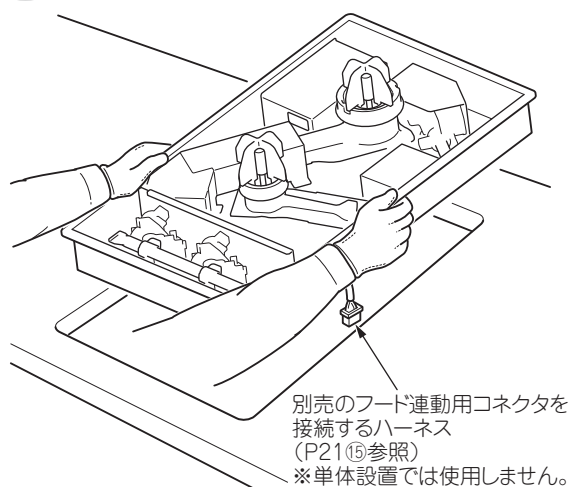
① コンロをワークトップにはめ込む。 **図3**

●本体右側のフード連動用コネクタ接続ハーネスを手で押さえながら、ワークトップ開口部に入れる。

※はめ込み時は必ず本体側部を持ってはめ込んでください。バーナーやガス通路部などの内部部品を持ってはめ込むと機器損傷の原因になります。

※ワークトップとの間にすき間があいていないか確認してください。

図3



お願い

●コンロを組み込む前に、キャビネットが背板などでふさがれているか確認してください。(P5 参照)

② コンロをワークトップに固定する。 **図 4**

- 本体前後面についている止めねじ4本を回して、コンロを動かない程度に固定する。

※締め込みすぎると、ワークトップを壊したり、コンロが変形したり、トッププレート固定ねじ締結部の穴位置がずれたり、トッププレートが浮く原因になります。

〈使用工具〉

スパナ（呼び8）、モンキーレンチ

- スパナ、モンキーレンチがない場合は、ペンチ・プライヤー・ラジオペンチなどで止めねじの六角部をはさんで、ねじを回す。

※工具を使用する際には、バーナーやマニホールドなどの部品に傷をつけないようにする。

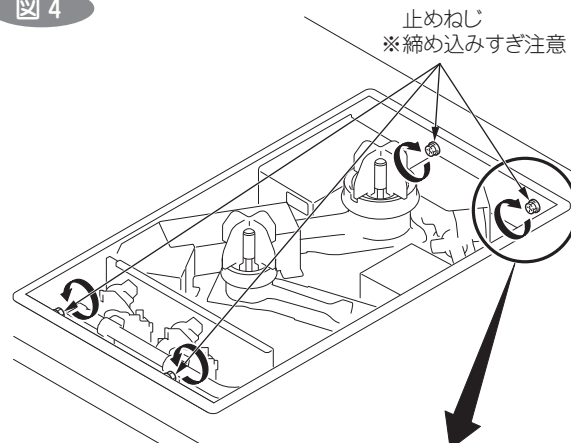
※プラスドライバーは、マニホールドを傷つけるおそれがあるため、使用しないでください。

③ 本体右前部のコネクタをトッププレートのコネクタに接続する。（3カ所） **図 5**

- トッププレートをコンロ右側に立て掛け、しっかり支えながらコネクタを差し込む。

※ケーブルの引き出し位置に注意してください。正しい位置から引き出さないと、ケーブルがはさまれてトッププレートが浮く原因になります。

図 4



※止めねじを締め込みすぎるとコンロ本体が変形します。

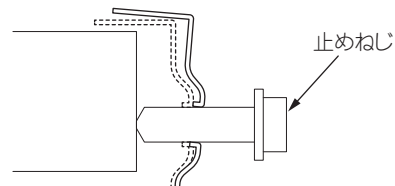
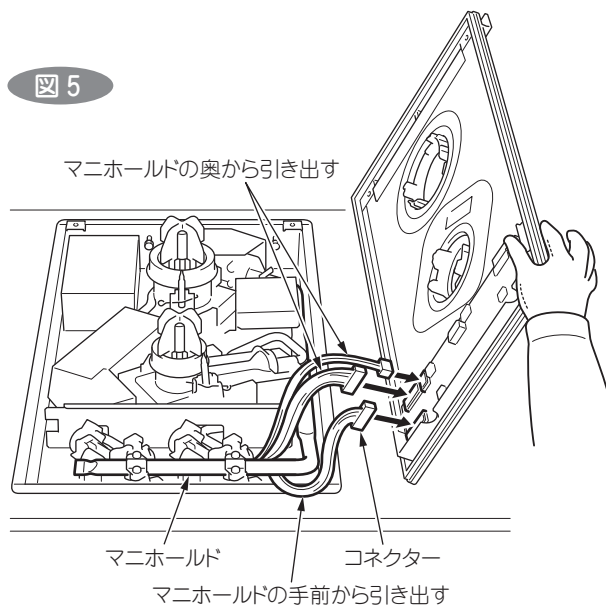


図 5

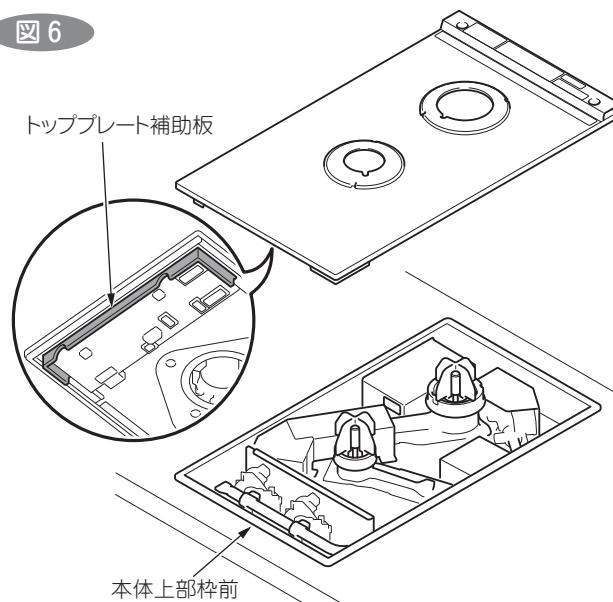


④ トッププレートを取り付ける。

- トッププレート補助板を本体上部枠前に合わせる。

図 6

図 6



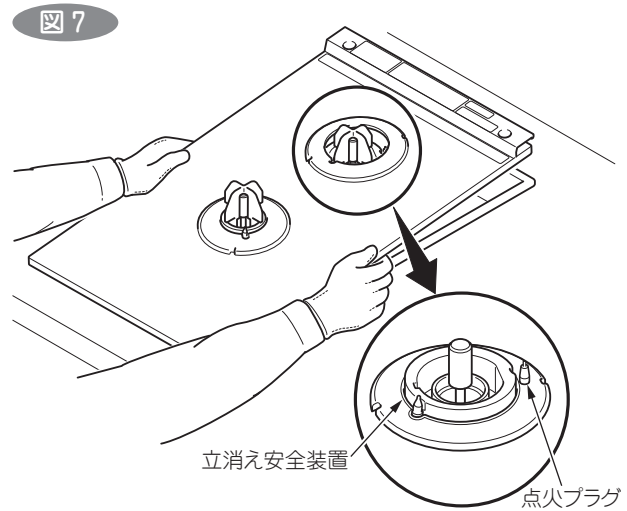
- 点火プラグと立消え安全装置をバーナーリングの穴へ通すように取り付ける。 **図 7**

※バーナーリングの穴が点火プラグや立消え安全装置に乗り上げないように位置を調整する。

※点火プラグと立消え安全装置の部分で、トッププレートの乗り上げがないことを確認する。

- トッププレートを上から押さえ、トッププレート補助板を差し込む。 **図 6**

※トッププレートの取り扱いには十分に注意してください。割れや欠けの原因になります。



- ⑤ トッププレート後部 2 カ所を固定する。

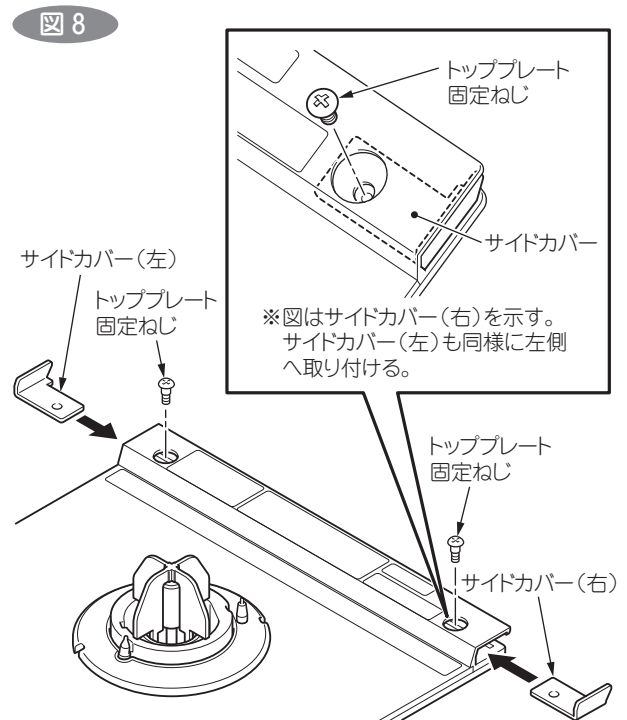
図 8

- 付属のトッププレート固定ねじを使用して、サイドカバーを横から入れて抱き締めする。

- トッププレート固定ねじを軽く締めておき、サイドカバーの位置を吸気口の端に合わせてから、強く締め込む。

お願い

- ケーブルがはさまれていないか確認してください。
- バーナーや立消え安全装置を傷つけたり、点火プラグを曲げたりしないよう注意してください。
- バーナーリング、吸気口を持って運搬しないでください。
- バーナーリングに傷がつくのでリング側を立てかけたり、床などに置いたりしないでください。



- ⑥ トッププレート取り付け後、設置用キャップを取りはずす。

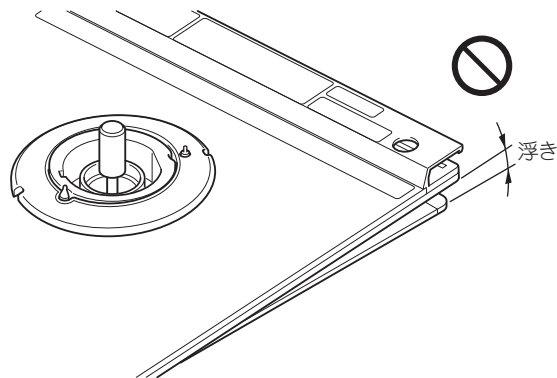
※必ずサイドカバーと抱き締めしてください。トッププレートが浮く原因になります。

⚠ 注意



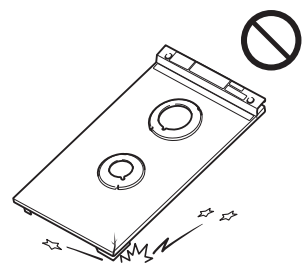
■トッププレートは誤った取り付けで使わない

トッププレートが浮いたり、傾いて取り付けられた場合、トッププレートとバーナーの位置関係がずれ、点火しないなどの動作不良の原因となります。



■トッププレートは端面に衝撃を加えない

割れや欠けの原因になりますので十分に注意して取り扱ってください。



⑦ 本機器接続の電源ブレーカーを「切」にして、電源コードとアース線を接続する。

●電源コードとアース線をコンセントに接続する。

※組み込み時、電源コードとアース線をはさみ込まないように注意しながら行ってください。

※ **4 電気配線工事** を参照。

⚠ 注意



■必ずトッププレートを設置した後に、本機器接続の電源ブレーカーを「入」にする

操作感度が悪くなり、操作できない場合があります。また、本機器接続の電源ブレーカーを「入」にした後は、5秒程度機器に触れないでください。操作感度の初期設定を自動で行います。

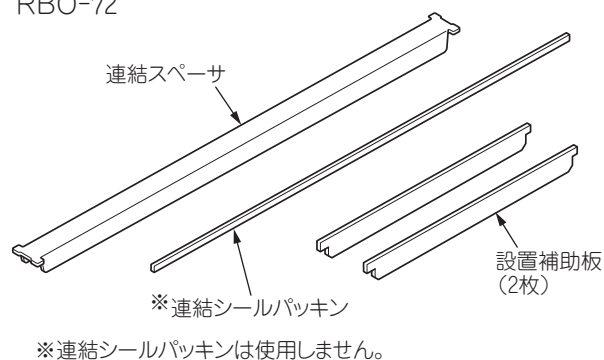
設置後、操作できない場合は、本機器接続の電源ブレーカーをいったん「切」にし、1分程度待ってから「入」にし直してください。

3. コンロの設置（連結設置）

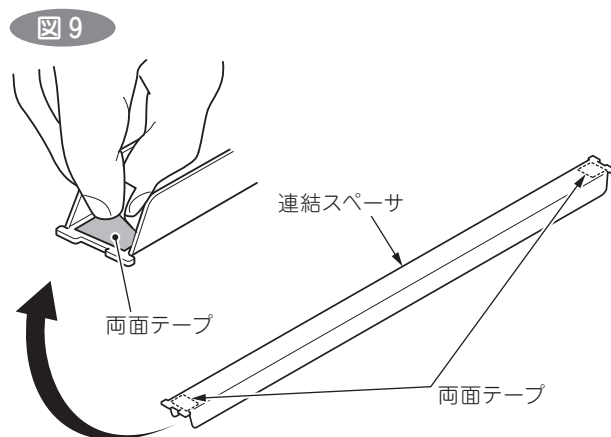
※連結設置する場合は、別売の連結部材セット（RBO-72）が必要です。

お買い上げの販売店、または施工店にお問い合わせください。

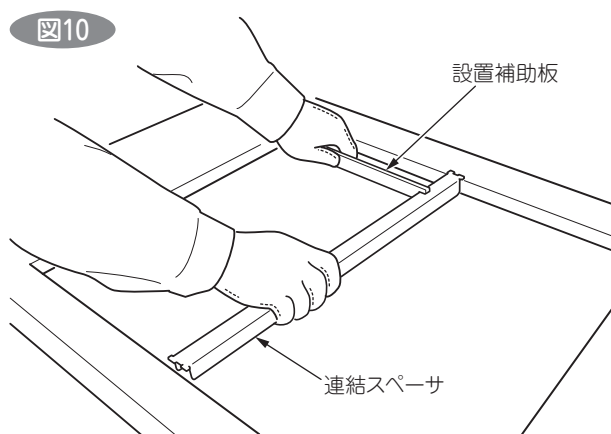
●連結部材セット RBO-72



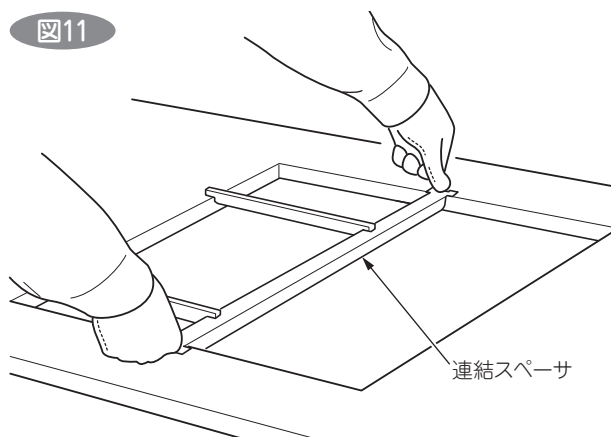
- ① 連結スペーサ裏面の前後に貼り付けてある両面テープのはくり紙をはがす。 **図9**



- ② 設置補助板（2枚）で前後の位置間隔を合わせる。 **図10**



- ③ 連結スペーサを押さえて貼り付ける。 **図11**
※しっかりと押さえつけて、浮き上がりのないことを確認する。

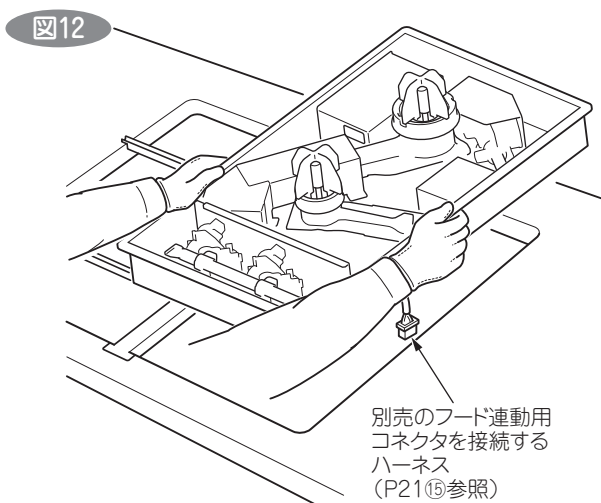


④ コンロをワークトップにはめ込む。 **図12**

- 本体右側のフード連動用コネクタ接続ハーネスを手で押さえながら、ワークトップ開口部に入れる。

※はめ込み時は必ず本体側部を持ってはめ込んでください。バーナーやガス通路部などの内部部品を持ってはめ込むと機器損傷の原因になります。

※ワークトップとの間にすき間があいていないか確認してください。



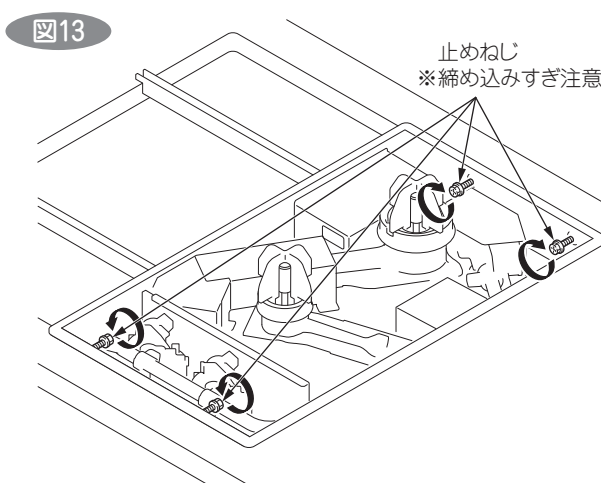
お願い

- コンロを組み込む前に、キャビネットが背板などでふさがれているか確認してください。(P 5 参照)

⑤ コンロの縦方向のすき間を調整する。 **図13**

- 本体前後面についている止めねじ4本を回して、コンロを少し動く程度に仮固定する。

※締め込みすぎると、コンロが動かなくなり、横方向の調整ができません。



〈使用工具〉

スパナ (呼び8)、モンキーレンチ

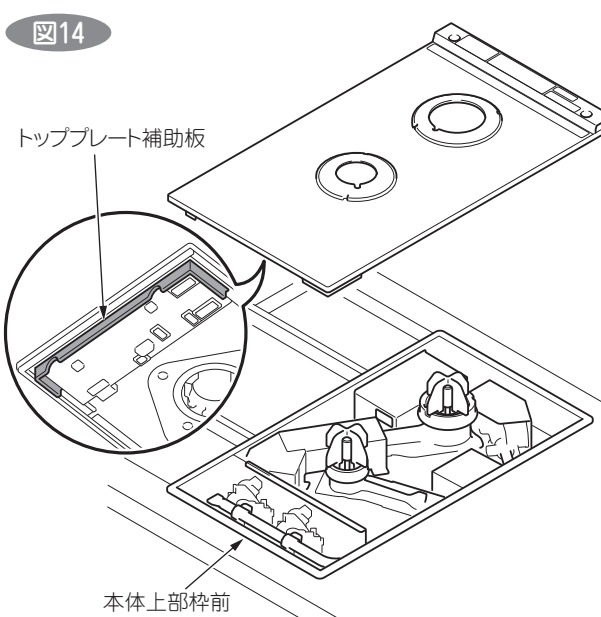
- スパナ、モンキーレンチがない場合は、ペンチ・プライヤー・ラジオペンチなどで止めねじの六角部をはさんで、ねじを回す。

※工具を使用する際には、バーナーやマニホールドなどの部品に傷をつけないようにする。

※プラスドライバーは、マニホールドを傷つけるおそれがあるため、使用しないでください。

⑥ トッププレートを仮置きする。 **図14**

- トッププレート補助板を本体上部枠前に合わせる。
- ※位置調整の仮置きのため、トッププレートのコネクター接続は必要ありません。



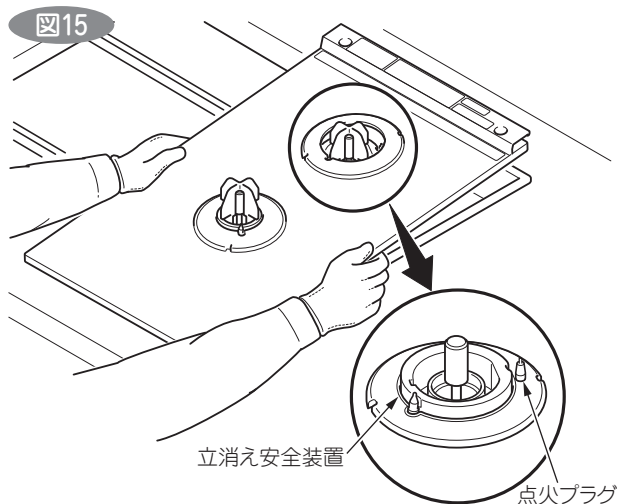
- 点火プラグと立消え安全装置をバーナーリングの穴へ通すように取り付ける。 **図15**

※バーナーリングの穴が点火プラグや立消え安全装置に乗り上げないように位置を調整する。

※点火プラグと立消え安全装置の部分で、トッププレートの乗り上げがないことを確認する。

- トッププレートを上から押さえ、トッププレート補助板を差し込む。 **図14**

※トッププレートの取り扱いには十分に注意してください。割れや欠けの原因になります。



- ケーブルがはさまれていないか確認してください。

お願い

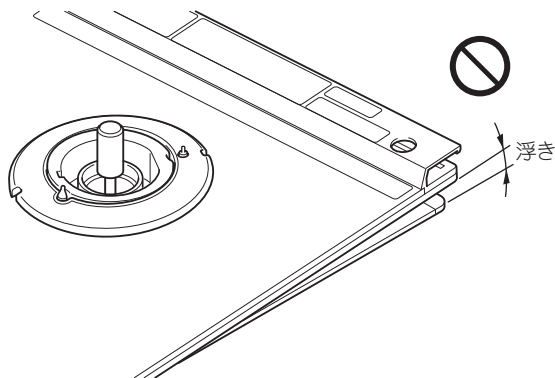
- バーナーや立消え安全装置を傷つけたり、点火プラグを曲げたりしないよう注意してください。
- バーナーリング、吸気口を持って運搬しないでください。
- バーナーリングに傷がつくのでリング側を立てかけたり、床などに置いたりしないでください。

⚠ 注意



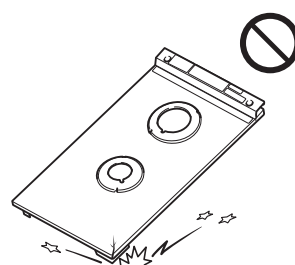
■ トッププレートは誤った取り付けで使用しない

トッププレートが浮いたり、傾いて取り付けられた場合、トッププレートとバーナーの位置関係がずれ、点火しないなどの動作不良の原因となります。

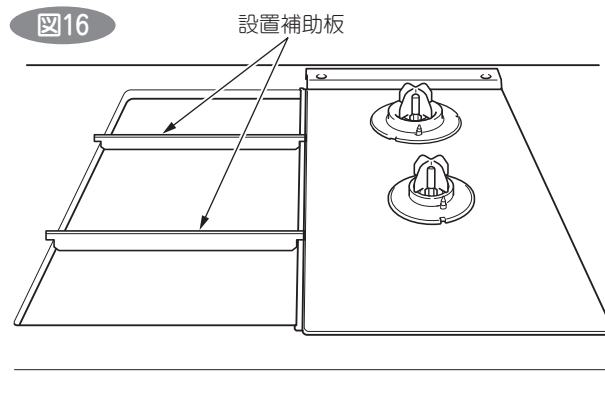


■ トッププレートは端面に衝撃を加えない

割れや欠けの原因になりますので十分に注意して取り扱ってください。



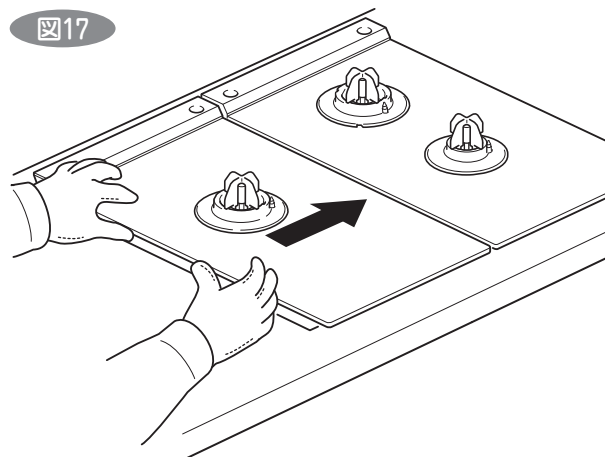
- ⑦ 1台目のコンロを仮設置後に設置補助板をはずす。 図16



- ⑧ ④～⑥の手順で2台目のコンロをはめ込み、1台目との縦方向の位置と、トッププレート間のすき間を確認する。 図17

●位置がずれている場合は、一度トッププレートをはずし、止めねじの調整を行う。

※3連設置の場合は、2台目のコンロを仮設置後に3台目のコンロをはめ込み、2台目との縦方向の位置と、トッププレート間のすき間を確認する。

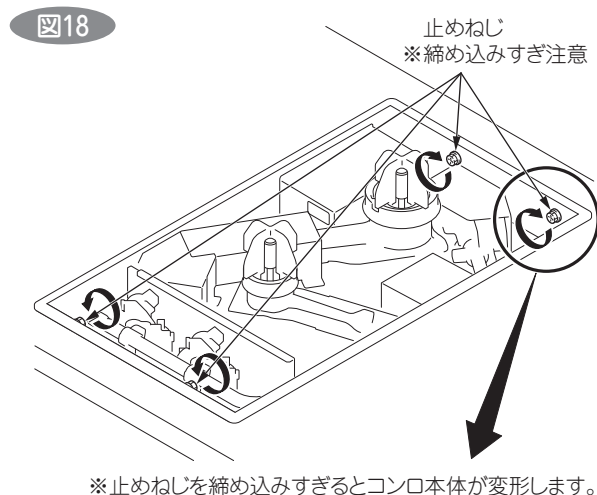


- ⑨ 仮置きしたトッププレートをはずす。
●トッププレート後部を手前に向かって持ち上げる。

※トッププレートを持ち上げる際、手前に倒しすぎないでください。

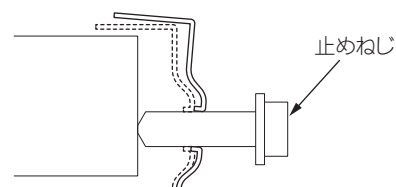
※バーナーリングが点火プラグに乗り上げた状態にならないようにしてください。

※バーナーリングがこすれて、点火プラグに汚れ（バーナーリングのこすれた粉）がついていないか確認してください。汚れがついた場合は、点火不良の原因になりますので、布などでふき取ってください。



- ⑩ コンロをワークトップに固定する。 図18
●⑤で仮固定した本体前後面についている止めねじ4本を回して、コンロを動かない程度に固定する。

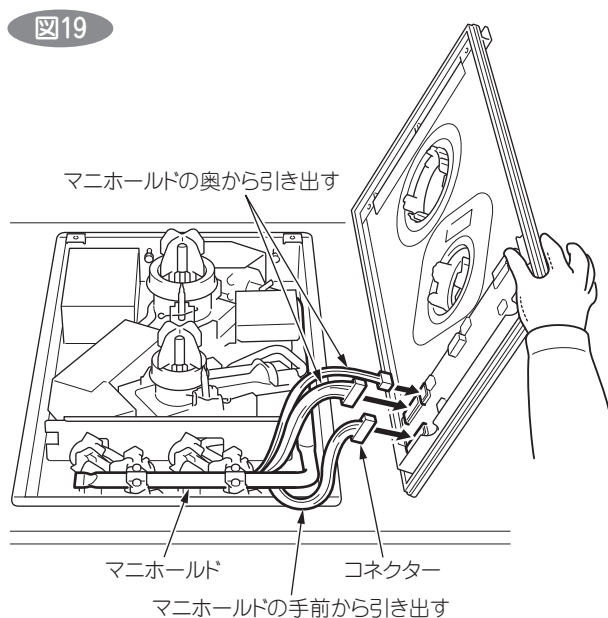
※締め込みすぎると、ワークトップを壊したり、コンロが変形したり、トッププレート固定ねじ締結部の穴位置がずれたり、トッププレートが浮く原因になります。



- ⑪ 本体右前部のコネクターをトッププレートのコネクターに接続する。(3カ所) 図19

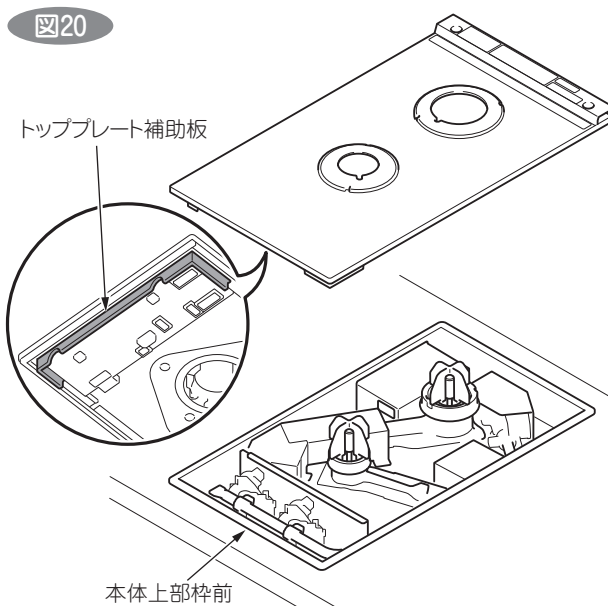
- トッププレートをコンロ右側に立て掛け、しっかり支えながらコネクターを差し込む。

※ケーブルの引き出し位置に注意してください。
正しい位置から引き出さないと、ケーブルがはさまれてトッププレートが浮く原因になります。



- ⑫ トッププレートを取り付ける。
● トッププレート補助板を本体上部枠前に合わせる。

図20



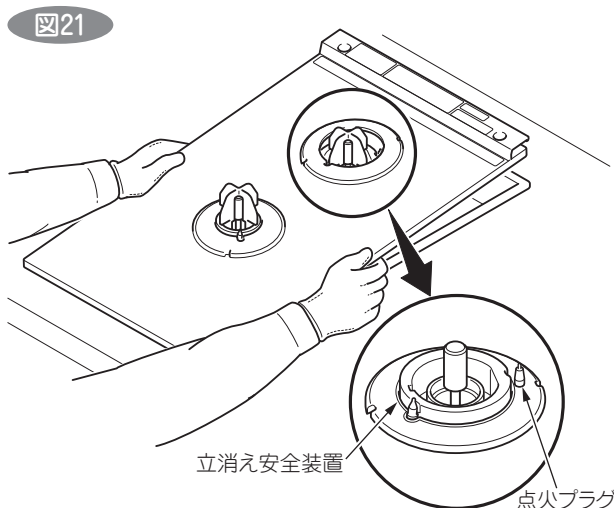
- 点火プラグと立消え安全装置をバーナーリングの穴へ通すように取り付ける。 図21

※バーナーリングの穴が点火プラグや立消え安全装置に乗り上げないように位置を調整する。

※点火プラグと立消え安全装置の部分で、トッププレートの乗り上げがないことを確認する。

- トッププレートを上から押さえ、トッププレート補助板を差し込む。 図20

※トッププレートの取り扱いには十分に注意してください。割れや欠けの原因になります。



⑬ トッププレート後部2カ所を固定する。

図22

- 付属のトッププレート固定ねじを使用して、サイドカバーを横から入れて抱き締めする。
- ※ トッププレートを取り付けるときにサイドカバーをあらかじめ吸気口に差し込んでおく。
- トッププレート固定ねじを軽く締めておき、サイドカバーの位置を吸気口の端に合わせてから、強く締め込む。

お願い

- ケーブルがはさまれていないか確認してください。
- バーナーや立消え安全装置を傷ついたり、点火プラグを曲げたりしないよう注意してください。
- バーナーリング、吸気口を持って運搬しないでください。
- バーナーリングに傷がつくのでリング側を立てかけたり、床などに置いたりしないでください。

⑭ トッププレート取り付け後、設置用キャップを取りはずす。

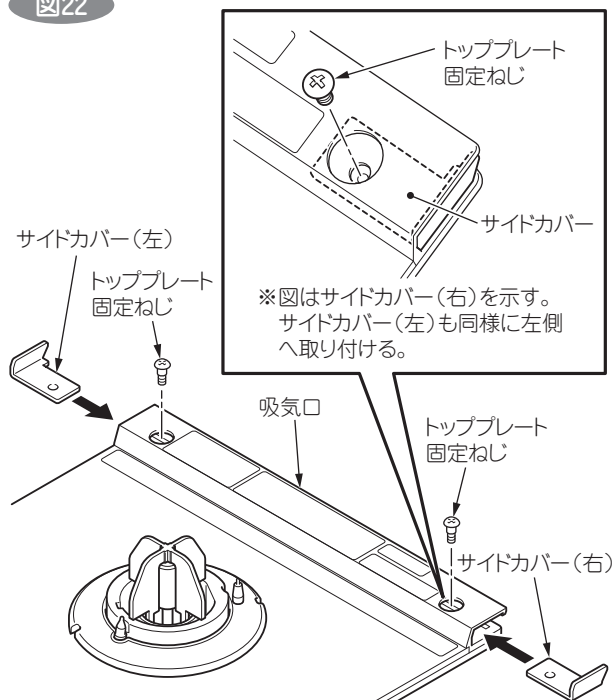
⑮ 連結設置にてレンジフード連動機能を使用する場合は、別売のフード連動用コネクタ(RBO-R79-60: 2連設置用、RBO-R79-90: 3連設置用)を取り付ける。

※ 取り付け方法の詳細は、フード連動用コネクタに付属の設置説明書を参照してください。

※ お買い上げの販売店、または施工店にお問い合わせください。

※ 連結設置でトッププレート取り付け後、となりのコンロと上下の段差がある場合は、止めねじをゆるめて、やり直してください。

図22

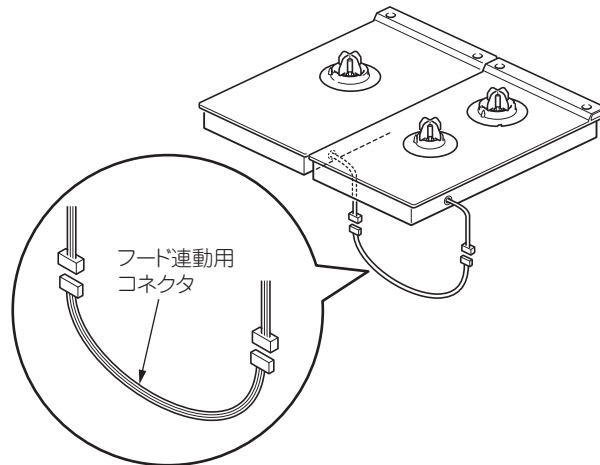


※必ずサイドカバーと抱き締めしてください。トッププレートが浮く原因になります。

● フード連動用コネクタ (別売)

RBO-R79-60: 2連設置用

RBO-R79-90: 3連設置用

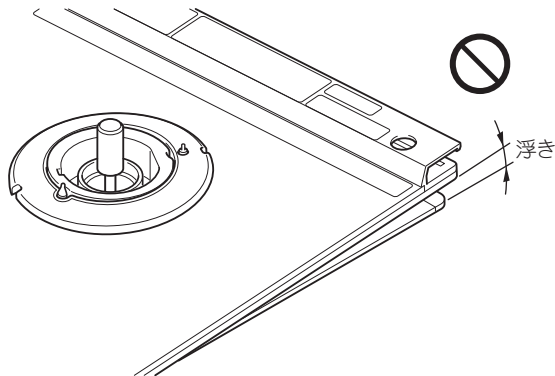


⚠ 注意



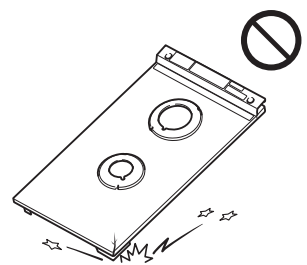
■トッププレートは誤った取り付けで使わない

トッププレートが浮いたり、傾いて取り付けられた場合、トッププレートとバーナーの位置関係がずれ、点火しないなどの動作不良の原因となります。



■トッププレートは端面に衝撃を加えない

割れや欠けの原因になりますので十分に注意して取り扱ってください。



⑩ 本機器接続の電源ブレーカーを「切」にして、電源コードとアース線を接続する。

●電源コードとアース線をコンセントに接続する。

※組み込み時、電源コードとアース線をはさみ込まないように注意しながら行ってください。

※ **4 電気配線工事** を参照。

⚠ 注意

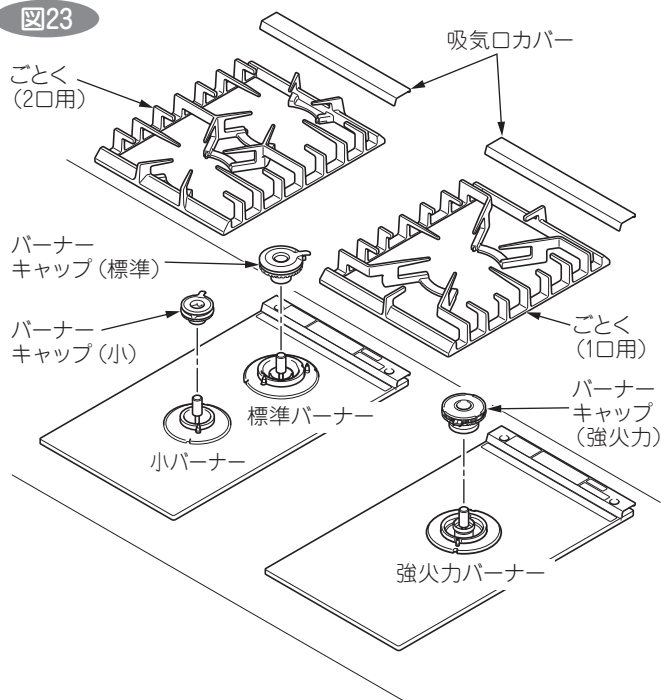


■必ずトッププレートを設置した後に、本機器接続の電源ブレーカーを「入」にする

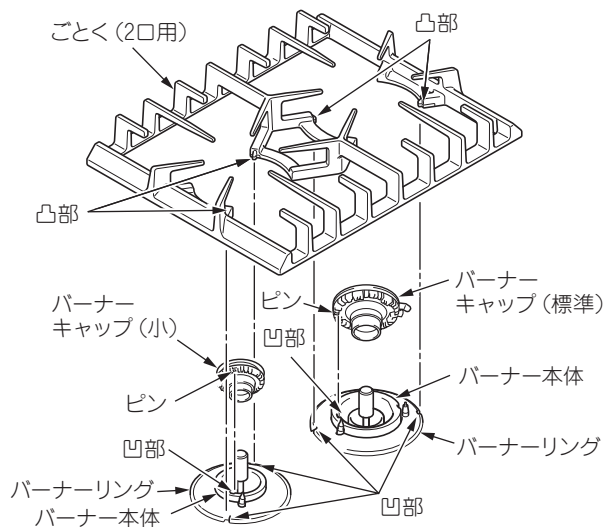
操作感度が悪くなり、操作できない場合があります。また、本機器接続の電源ブレーカーを「入」にした後は、5秒程度機器に触れないでください。操作感度の初期設定を自動で行います。
設置後、操作できない場合は、本機器接続の電源ブレーカーをいったん「切」にし、1分程度待ってから「入」にし直してください。

4. 部品の取り付け

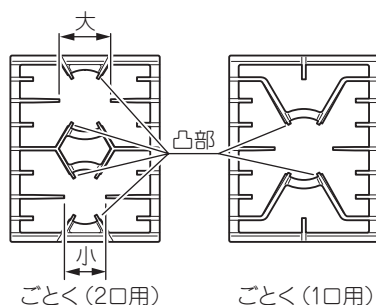
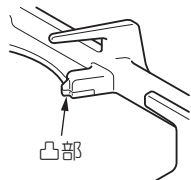
図23



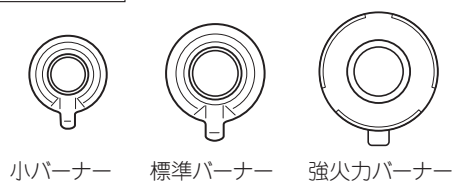
標準バーナー・小バーナー



ごとく



バーナーキャップ



●バーナーキャップ、ごとくは、下図のように正しく取り付ける。

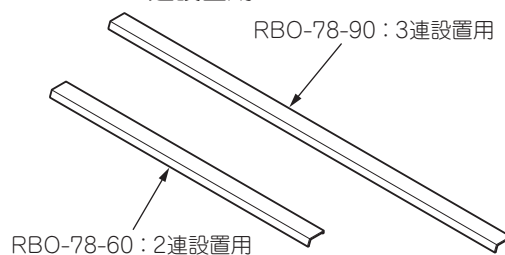
※連結設置の場合は、必要に応じて吸気口カバーを別売の連結後部フィラー（RBO-78-60：2連設置用、RBO-78-90：3連設置用）に変更することができます。

お買い上げの販売店、または施工店にお問い合わせください。

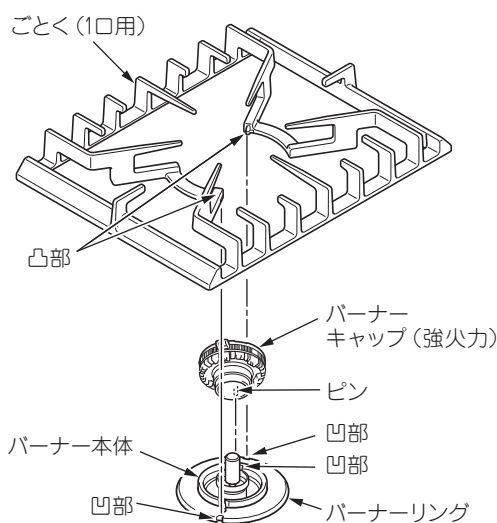
●連結後部フィラー（別売）

RBO-78-60：2連設置用

RBO-78-90：3連設置用



強火力バーナー



●バーナーリングの凹部にごとく内側の凸部を入れて正しく取り付ける。

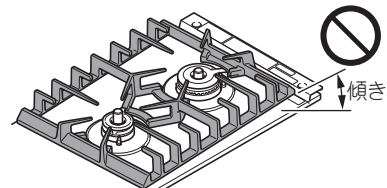
●バーナー本体の凹部にバーナーキャップのピンを入れて正しく取り付ける。

⚠ 注意



■ごとくは誤った取り付けで使用しない

誤った取り付けをすると鍋などが不安定になり、傾いたり、倒れたりします。

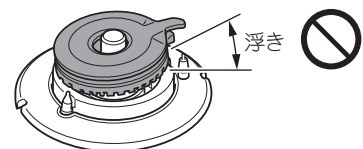


誤った取り付けの例

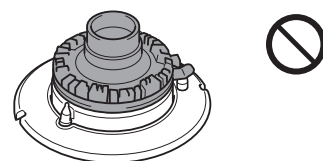


■バーナーキャップは誤った取り付けで使用しない

- バーナーキャップを正しく取り付けないと、点火しない場合があります。
- 炎のふぞろいや逆火で不完全燃焼、一酸化炭素中毒のおそれやバーナーキャップが変形する場合があります。
- 機器の中に炎がもぐりこんで焼損する原因になります。



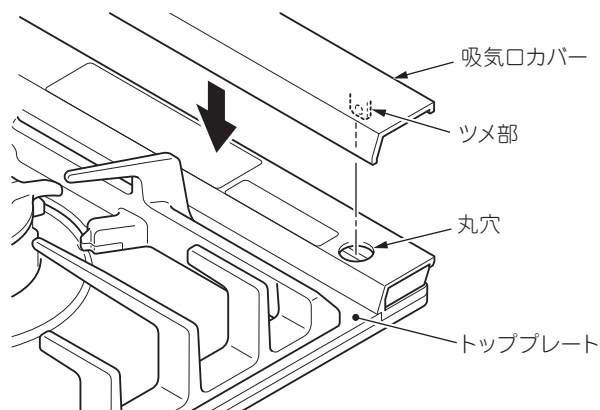
バーナーキャップの浮き



バーナーキャップの裏返し

吸気口カバー

- トッププレート後部の丸穴に吸気口カバーのツメ部を差し込んで、取り付ける。



5. 停電時用電池ケースの取り付け

- ① 電池ケースをキャビネット内部側面または後面の見えるところに取り付ける。 **図24**

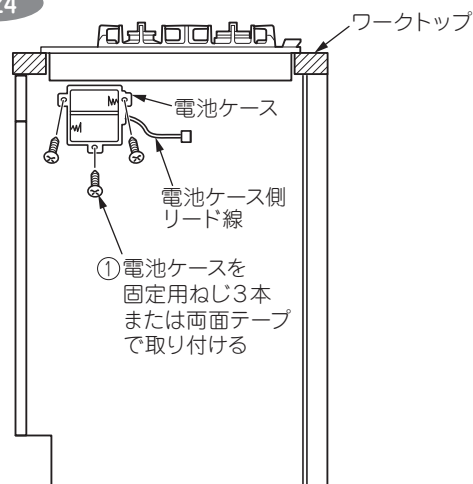
- 電池ケースを付属の電池ケース固定用ねじ3本で取り付ける。ただし、ねじ固定が困難な場合（金属製キャビネットなど）は、両面テープを使用する。

※両面テープは同梱されていません。

お願い

- 電池ケースの取り付けはキャビネットの引き出しなどに触れないことを確認し行ってください。
- 電池ケースは機器底面に取り付けないでください。

図24



- ② 電池ケースのリード線と機器側のリード線のコネクターを接続する。 **図25**

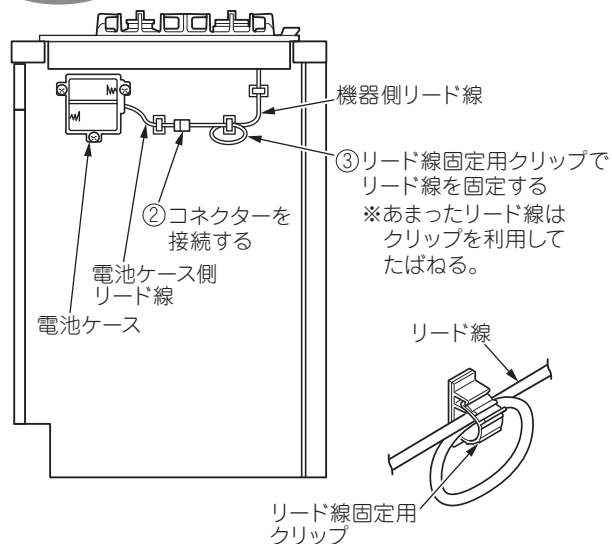
- ③ 付属のリード線固定用クリップでリード線を固定する。 **図25**

- リード線のたるみのないようにリード線固定用クリップをキャビネット側面または後面に貼り付ける。

お願い

- あまったリード線はリード線固定用クリップを利用してたばねてください。
- リード線の取り付けはガス配管作業時に支障のないことや、キャビネットの引き出しなどに触れないことを確認し行ってください。

図25



※停電時の使用以外は、必ず乾電池を取りはずしてください。

乾電池を入れたままにしておくと、停電時以外は電源が入りません。また、乾電池が放電し、短期間で使用できなくなります。

警告



■ガス配管接続には専門の資格・技術が必要です

接続工事・取りはずし工事は、必ず有資格者が行ってください。

有資格者がいない場合、ガス事業者の指定する工事店にご依頼ください。

- 接続の際は、ガスシール材を必ず使用してください。
- ガス栓（ねじガス栓）を必ず取り付けてください。
- 接続完了後、ガス漏れのないことを確認してください。
- 取りはずした部品は、必ず取り付けてください。

① 機器へのガス接続に必要な資格について

- 都市ガス用機器の場合、内管工事士・簡易内管施工士・ガス機器設置スペシャリスト・ガス可とう管接続工事監督者のいずれかの必要な資格を有する者が施工すること。

- LP ガス用機器の場合、液化石油ガス設備士の資格を有する者が施工すること。

（ガス機器設置スペシャリストは「燃焼器用ホース」の交換のみ施工可能）

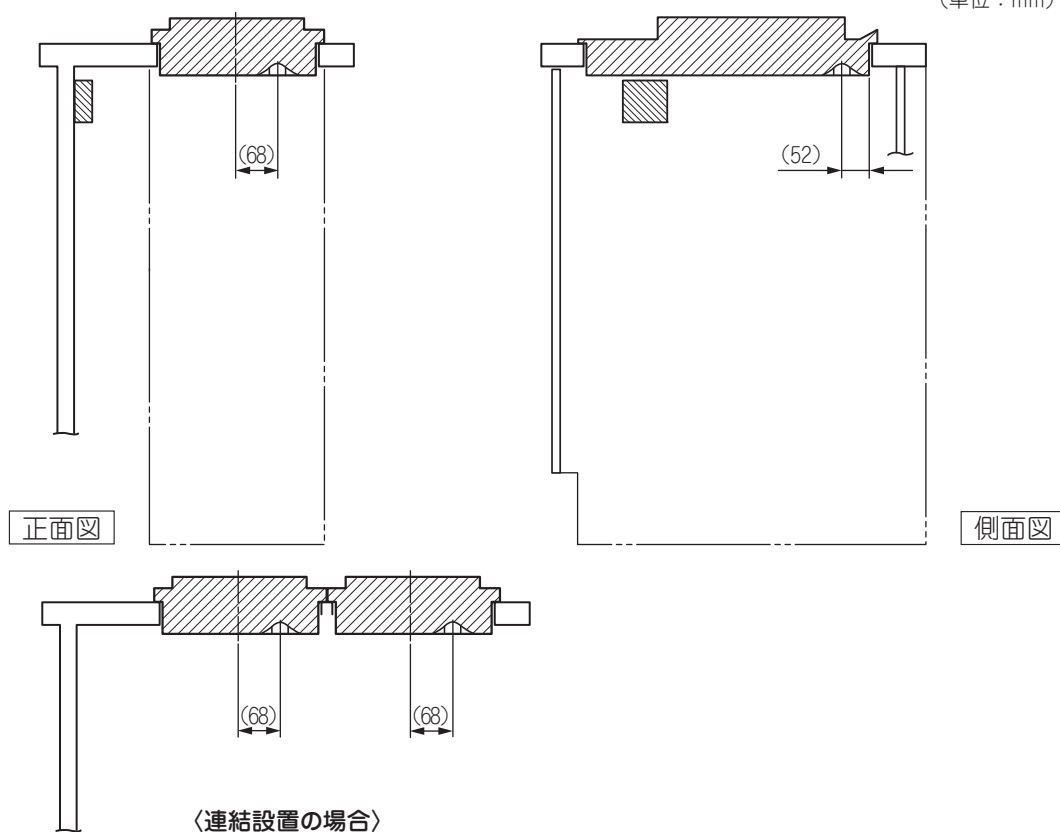
なお、液化石油ガス設備工事を行う事業者は、事業所ごとに所在地を管轄する都道府県知事に「特定液化石油ガス設備工事業開始届書」を提出する必要があります。

② コンロの配管方法

- インレットキャップをはずしてください。
- ガス配管接続は、金属可とう管（金属フレキシブルホース）・機器接続ガス栓を使用する。
- 配管周囲のすき間をなくすように、配管キャップなどを取り付ける。

※すき間が大きいと消火したり、炎がもぐりこんだりして異常過熱の原因になります。

（単位：mm）



設置施工例図

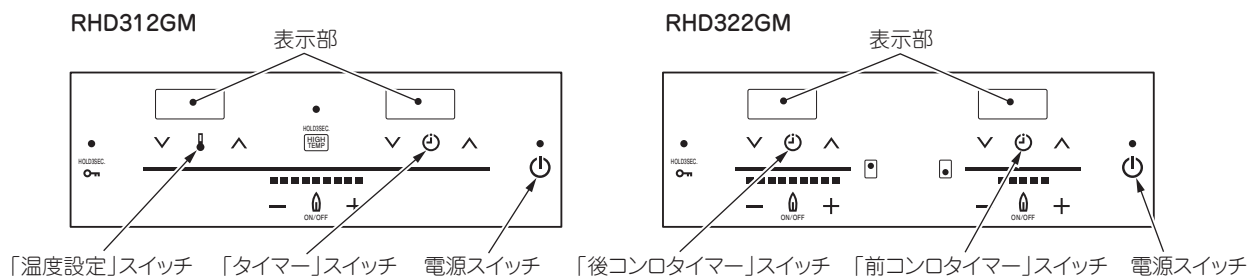
7

設置後の点検確認

●チェックリストに基づいて確認する。

点 検 項 目	点 検 内 容	参照項目	チェック
機器の周囲	ガス種・電源（電圧・周波数）	使用するガス種に適合しているか。（銘板確認） 使用する電源（電圧・周波数）に適合しているか。（電気用銘板確認）	1
	可燃物との離隔距離	可燃物との離隔距離、火災予防上の措置は十分か。	1
	水平設置	水平に設置されているか。	1
	安定設置	ガタツキはないか。	1
	換気設備	十分換気できる場所に設置されているか。	1
キャビネット	キャビネットに背板があるか。（機器後方に穴があいていないか）	1	
ガス配管接続工事	ガス漏れはないか。	6	
ラベル貼付	接続具の設置者ラベルおよび連絡先のステッカーを貼付したか。	—	
電気工事	電源コード・アース線など配線がキャビネットとびら、引き出しにかみ込んでいないか。また、本体カバーに接触していないか。	4	
	アース工事をしたか。	4	
同梱部品	部品の不足はないか。また正しく取り付けられているか。	3 5	
レンジフード連動	レンジフードが正しく作動するか。	—	
その他	包装部材が機器に残っていないか。	—	

■レンジフード連動設定



■レンジフード連動信号の切り替え

※レンジフードの取扱説明書を参照して、メーカー名を確認してください。

レンジフード側信号	主なメーカー名	表示部
NEC フォーマット	富士工業製	1
家製協フォーマット	パナソニック製	2

出荷時設定

●出荷時の機器のレンジフード連動信号は NEC フォーマットに初期設定されているので、家製協フォーマットに変更するときは下記の操作を行う。

設定手順

- ① 電源スイッチを押して、電源を入れる。
- ② 電源を入れて15秒以内に、「温度設定」スイッチを押しながら「タイマー」スイッチを3回押す（RHD312GM）、「後コンロタイマー」スイッチを押しながら「前コンロタイマー」スイッチを3回押す（RHD322GM）。（「メンテナンスモード」）
- ③ 「温度設定」スイッチ（RHD312GM）、「後コンロタイマー」スイッチ（RHD322GM）の「ハ」スイッチまたは「V」スイッチを押して、表示部のメンテナンスモード No.「08」を表示させる。
- ④ 「タイマー」スイッチ（RHD312GM）、「前コンロタイマー」スイッチ（RHD322GM）の「ハ」スイッチを3秒間押して、表示部の「1」（NEC フォーマット）から「2」（家製協フォーマット）に変更する。
- ⑤ 電源スイッチを押して、電源を切る。
- ⑥ 点火／消火操作を行い、レンジフードが連動することを確認する。

■レンジフード連動機能、レンジフード風量切替の ON/OFF の切り替え

- 出荷時の機器のレンジフード連動機能は自動 ON、レンジフード風量切替は自動 OFF に初期設定されているので、自動 ON/OFF を変更するときは下記の操作を行う。

設定手順

- ① 電源スイッチを押して、電源を入れる。
- ② 「温度設定」スイッチと「タイマー」スイッチを同時に 3 秒間押す (RHD312GM)、「後コンロタイマー」スイッチと「前コンロタイマー」スイッチを同時に 3 秒間押す (RHD322GM)。(「カスタマイズ機能」)
- ③ 「温度設定」スイッチ (RHD312GM)、「後コンロタイマー」スイッチ (RHD322GM) の「ハ」スイッチまたは「V」スイッチを押して、表示部のカスタマイズ No. 「04」レンジフード連動機能または No. 「05」レンジフード風量切替を表示させる。
- ④ 「タイマー」スイッチ (RHD312GM)、「前コンロタイマー」スイッチ (RHD322GM) の「ハ」スイッチまたは「V」スイッチを押して、表示部の「OFF」から「ON」に変更する。
- ⑤ 電源スイッチを押して、電源を切る。

8 試点火および試運転

① 試点火および試運転

- 正しく設置されていることを確認してから、本機器接続の電源ブレーカーを「入」にし、機器のガス栓（ねじガス栓）を開き、取扱説明書に基づき、点火および作動の確認を行う。

※こんなときは故障ではありません。

鍋などの調理道具を置かずに試点火させると、過熱防止装置作動エラー02や14が表示され、ブザー音とともに炎が消火することがありますが、異常ではありません。

② 試運転終了後の処置

- 試運転終了後は、必ず機器のガス栓（ねじガス栓）を閉め、本機器接続の電源ブレーカーを「切」にする。

※電源ブレーカーを切る場合は、本機器接続の電源ブレーカーであることを確認してください。

⚠ 注意



■試運転終了後必ずガス栓（ねじガス栓）を閉め、本機器接続の電源ブレーカーを「切」にする

③ お客様への説明

- 必ず取扱説明書に基づいて、機器の取り扱いを説明する。
- 必ず電池ケースの取り付け場所を説明する。
- 必ず取扱説明書の保証書に必要事項を記入のうえ、保証内容を説明する。
- 取扱説明書（保証書付）、設置説明書の保管のお願いをする。
- この機器は電源接続時に操作感度の初期設定を自動で行うため、本機器接続の電源ブレーカーを「入」にするときは、機器の上には何も置かず、5秒程度機器に触れないようにお願いをする。

